

# 吹連いばらき

発行所 茨城県取手市山王1000  
 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校内  
 一般社団法人 茨城県吹奏楽連盟  
 電話 0297-63-5120  
<http://www.iba-sui.jp/>  
 発行人 代表 武藤隆行  
 印刷所 山三印刷株式会社



「第43回全日本小学生バンドフェスティバルマーチング部門」水戸市立石川小学校：金賞受賞（2年連続）  
 （大阪城ホール）写真提供：(株)エコーフィルムプロダクション



## 新年度を迎えて

理事長 武藤隆行

今年度より茨城県吹奏楽連盟理事長を仰せつかることになりました武藤隆行です。これまで本連盟は川名前理事長のリーダーシップのもと、吹奏楽界の躍進のために大きな役割を果たしてまいりました。理事長を引き継ぐに当たり、本連盟がこれまで通り吹奏楽を通して音楽の感動を多くの方々へ伝える一翼を担うことができよう、一人の吹奏楽を愛する人間としても、その責務に精一杯励んでまいりたいと思います。

折しも学校現場では、少子化と部活動の地域移行が進んでおり、吹奏楽でもバンドの規模や活動が縮小したり、学校を単位とした吹奏楽部の活動が地域の活動として新たに編成し直されたりと多くの課題に直面しております。本連盟としても吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストに合同バンドや地域バンドの参加がスムーズにできるよう、今後改善に努めてまいります。

また、コロナ禍以後制限されていた吹奏楽の活動も、県内各地で多くの演奏会が実施されるようになりましたのは、ひとえに加盟団体の皆様の音楽に対する情熱が形となり、吹奏楽を通して音楽教育・音楽活動に携わる方々の献身的な努力と日々の取り組みの成果に他ならないと思っております。本連盟としても吹奏楽活動のさらなる活性化のために一層努力していかねば

ならないと考えているところです。その取り組みの中、令和6年度は本県の団体が東関東支部の代表として活躍いたしました。小学校では水戸市立酒門小学校が第43回全日本小学生バンドフェスティバルステージパフォーマンス部門に、水戸市立石川小学校がマーチング部門にそれぞれ出場いたしました。特に水戸市立石川小学校は2年連続金賞を受賞する快挙を達成いたしました。

また、第24回東日本学校吹奏楽大会は初めて本県が主管し、水戸市民会館において開催され、水戸市立第一中学校と八千代町立東中学校が出場いたしました。熱演が繰り広げられたこの大会実施にあたってはご尽力いただいた関係各位の皆様にご心より感謝を申し上げます。そしてアンサンブルコンテストにおいては常総学院高等学校が第48回全日本アンサンブルコンテストに出場いたしました。各団体とも本県並びに東関東の代表として、素晴らしい演奏・演技を披露したのはもちろんのこと、そこに至るまでの日頃の努力に心より賞賛を送りたいと思います。

私達が愛してやまない吹奏楽。その音楽の調べが県内各地にこれからも響くことを心より願っております。今後とも皆様のご協力を心からお願いいたします。

# 一年を振り返って

## 地域と共に

神栖市立神栖第四中学校

志筑 晶恵

神栖第四中学校は、地域の行事やボランティア活動などに積極的に参加する機会の多い、地域とともにある学校です。

日頃から地域の行事で演奏の機会をいただいていることから吹奏楽部の認知度も高く「吹奏楽部に入って一緒に演奏したい」という小学生が着実に増えました。部員数も増し吹奏楽コンクールではA部門に出場するまでになりました。部員は、演奏することで地域とのつながりを実感し達成感を味わっています。

そんな中、神栖市では昨年の9月に地域クラブ活動がスタートしました。「地域の子供たちは地域で育てる」、「中学生のスポーツ、文化芸術活動の新たな発展が活力ある地域と絆の強い街づくりにつながる」という趣旨のもと始まり、吹奏楽もその一つです。

そして、指導者には地域で吹奏楽に携わっている方、小学校の先生方など多くの方が

登録してくださいました。本校の場合私だけでなく、一般

吹奏楽団に所属している方をお迎えしています。

生徒たちは初めての活動に戸惑いや不安を感じていたようですが、自分たちの成長につながるものがわかり本校部員の9割の生徒が参加しています。新しい見方、考え方を学ぶことが自分の力となると実感し、意欲の向上にもつながりました。また、地元吹奏楽団や他校の演奏を聴く機会も増え、見分を広げることができました。

充実した活動は、地域に演奏やボランティア活動で還元し、その機会が生徒の成長につながる。そして、その姿に魅了された地域の子が吹奏楽部に入部し、活動を広げ地域に貢献する。まさに地域の輪を広げる活動となっております。

今後子供たちの向上心につながるよう、部活動、地域クラブともに運営してまいります。また、子供たちの力が成果となり、更なる成長となるよう支援します。

## 新しい部活動の在り方

阿見町立阿見小学校

椎名 正

阿見小学校に赴任して7年間、金管バンド部の顧問として子供たちと共に音楽活動をしてきましたが、私の個人が続けられませんが、個人的な都合で令和5年春に早期退職することとなり、それを機にバンド指導からも離れるつもりでした。しかし、保護者会から外部指導者としてぜひ子供たちの指導を続けて欲しいというお話をいただき、部活動地域移行や働き方改革などと重なったこともあり、学校と町教委・生涯学習課との相談の結果、続けさせていただけることとなりました。

コロナ禍では感染拡大によりたびたび活動停止があったため、なかなか子供たちも演奏技術を身につけることが困難でしたが、誰一人辞めることなく続けてくれたのは本当にありがたかったです。それぞれどこか「いつからまた活動できますか?」と会うたびに聞いてくる子供たちの声に私

が励まされました。また、この2年間で大きく変わったことに保護者会の協力があります。以前から費用面や吹奏楽コンクールでの楽

器運搬などで協力していただきましたが、昨年から学校職員の勤務時間外の見守りや休日練習時の立会い、パート練習の見守りやアドバイスなど、顧問様に様々な面で協力していただくようになりました。

令和5年度出場した吹奏楽コンクールでは、そんな子供たちの熱意と努力のおかげで県大会で金賞をいただくことができましたが、あと一歩というところで残念ながら東関東大会へと進むことはできませんでした。そして令和6年度、卒業した6年生が達成できなかった東関東大会に出場することを目標に、昨年以上に丁寧な練習を心がけました。

子供たちの努力に加えて保護者会のこれまで以上の様々な協力もあり、念願の東関東吹奏楽コンクールへの出場を果たし、銀賞を受賞することができました。親子で作ります、喜び合う、新たなバンドを指導する喜びを私自身も味わいながら、これからの新しい部活動の在り方を一緒に模索していきたいと思えます。

## 変化と継続

茨城県立古河第三高等学校

古澤 心絆

私たちの学校は令和6年度の吹奏楽コンクールで、20年ぶりの「東関東大会出場」を成し遂げることができました。県大会で素晴らしい結果を残し、「横浜みなとみらいホール」という大舞台で今までの練習の成果を披露することができてとても嬉しく思います。

県大会の表彰式で県代表校の中に私たちの高校名を聞いたときの感動は、時間が経っても忘れることのない記憶として残っています。令和6年度は出場部門を変更しての参加で、出演人数や曲数が違うという不安もありました。一方で、どうすればより感動を生み出せるかと、仲間と相談しながら一曲をじっくりと作り上げていくことは大きな楽しみや喜びでもありました。練習を重ねる日々の中では、個人練習の段階から「良い音」を出すことにこだわって取り組んだり、指揮に合わせてアンサンブルしながら演奏したりすることを大切にしてきました。「ミックスジュース」



を合言葉にし、音同士を混ぜ合わせてひとつの楽器に聞こえるように共通理解を図りました。

また、表現の幅を広げるために以前よりも意識して他団体の上手な演奏を聴くなど、隙間時間をうまく利用することで、ステップアップすることができたと思います。そして、技術面に留まらず、精神的な面でも得られたものが多く、つらいときでも踏ん張って努力を継続する力や目標に向かって力を合わせることで生まれる達成感や充実感を学ぶことができました。

本番に向けた練習や当日の反省を通して気づくことができた様々な課題をこれからの活動に生かし、より一層高みを目指して部員で一丸となつて頑張つていこうと思います。そして、古河三高の伝統や新しく得たたくさんのものを繋いでいきたいです。

最後に、今回の吹奏楽コンクールをはじめとする部活動を日頃から支援してくださっている保護者の皆様、顧問の先生方、吹奏楽連盟の方々には感謝を申し上げます。



## 創立50年を振り返る

日立市民吹奏楽団

佐藤 博史

令和6年は日立市吹にとつて、団創立50周年の節目の年でした。当団は全国大会戦場の部で活躍した日立鉾山吹奏楽部の廃団に伴い、「日鉾日立」の音を残したいという日立市と市民の情熱により誕生しました。日立市には当時多賀中、泉丘中、平沢中、日立専修学校と、関東大会の常連校も多く、そのOBや顧問の先生の存在など、設立には良い環境が整っていました。

さて、令和6年の日立市吹は、1月の消防出初式に始まり、2月には水戸室内管弦楽団の先生方の公開レッスン及びミニコンサート、4月にはひたちさくら祭り、5月は市内中高吹奏楽部との合同演奏レックツブラス、そして定期演奏会、6月は市内中学校へ出前レッスン、さらに中里小中学校依頼演奏会、8月、9月は吹奏楽コンクール、10月は日立市のふれあい運動会演奏、11月は市民音楽祭、産業祭、そして12月22日には織田浩司さんを迎えるのポップスコンサートが開催され、あつという間の1年でした。また、楽団創立50周年記念

委嘱作品「Always the way remains」を長生淳先生に作曲していただき、定期演奏会と吹奏楽コンクールで初演出来たことは思い出深いものとなりました。また、ポップスコンサートでは、織田さんのソロはもとより、第2部の指揮もお願

いし、常任指揮者の原進先生のフリーゲルホルンのソロがあつたり、故岩井直博先生直伝のおふざけ演奏もあつたりと、団員もお客様も大盛り上がり、まさに50周年を締めくくるにふさわしいコンサートでした。私が入団して46年になりますが、団員も70名を超え、日立市民吹奏楽団は今が一番充実していると感じております。

現在進められている学校吹奏楽部の地域移行問題についても、将来の日立市吹の問題と捉え、出来ることは協力して参りたいと思います。終わりに、創立の原点である「多くの市民に楽しみと潤いを与える」を忘れることなく、精進して参りたいと思います。

## 音楽と共に育む心の成長

ひたちなか市立大島中学校

演野 京子

「子供たちと音楽づくりが

できるこの環境はすごく幸せなことである。」この言葉を心に抱いてから、2年が経ちました。その言葉を思い返すたび、心が温かくなる一方で、責任の重さを実感することもあります。4年前、大島中学校への赴任が決まり、当時の大島中は県トップレベルの成績を収めていました。「自分には責任が重すぎる」と考えていた気持ちは今でも変わっていません。副顧問としての2年間、さまざまな活動を通じて子供たちの個性や才能が花開く様子を目の当たりにし、日々の練習での緊張感や、大会後の達成感や私自身忘れられない経験となりました。

前任者が異動し、正顧問としての2年間は紆余曲折の連続でした。大学時代に身につけた管楽器演奏の技術と、指導者として他者に演奏を指示することとのギャップに悩まされ、自分の未熟さを痛感しました。初めて指揮者として子供たちの前に立ち、技術や存在感の大切さを感じると共に、部活動運営における課題も多くありました。しかし、当時の子供たちが見せた強い意志と協力の精神は素晴らしいものでした。彼らは前へ進む姿勢を忘れず、自ら道を切

り拓いていきました。その張りを支えてくれた保護者の方々の温かさや応援も心強く、日々の活力となりました。指導員の先生方からの熱意と愛情あふれる指導は、演奏技術の向上や音楽づくりだけでなく、部活動運営や子供たちへの寄り添い方、関係づくりを学ばせていただく貴重な機会でした。近隣の中学、高等学校の先生方からも練習会に誘っていただいたり、悩みを聞いていただいたりするなど、多くの方々の支援があつて今の自分があるのだと感じています。

子供たちとの音楽づくりは、技術の習得やパフォーマンスの向上にとどまらず、彼らの成長にも大いに貢献しています。この経験を通じて、私自身も多くのことを学びました。子供たちの無限の可能性は、一人一人の新たな挑戦や自己表現の中で、さらに一層輝きを増すと信じています。これからも彼らと共に音楽を創り出し、心を通わせながら、お互いに成長し合える時間を大切にしていきたいと思っております。そして、今後は、自らが彼らを支え、導く責任を果たせる指導者になりたいと考えています。

# 各事業部の活動

運営に努めて参ります。

## コンクール事業部

加藤 勝弘

令和6年度の吹奏楽コンクール実施におきましては、茨城県小学生バンドフェスティバル(ステージパフォーマンス部門)と茨城県吹奏楽コンクール小学生の部で、上部大会への出場意思を確認した上で、同時開催とさせて頂いたできました。関係する皆様におかれましては、御理解・御協力を賜りありがとうございます。

また、令和7年度の吹奏楽コンクールより、地区大会の開催基準を明確化したしました。中学生の部A部門、高校生の部A部門、大学の部、職場一般の部におきましては、参加申込数が24を超えた場合、その部門について、地区大会として予選を実施いたします。それ以外の部門につきましては、参加申込数が36を超えた場合地区大会として予選を実施いたします。それに伴い5月中旬に全団体行うこととなりますので、ご了承下さい。今後も、時代の変化を前向きに受け止め、よりよい大会

## アンサンブルコンテスト事業部

山田 賢哉

令和6年度、茨城県アンサンブルコンテストに、地区大会、県大会合わせて281団体603グループという多くの団体に参加いただきました。そのステージでは、少ない練習時間でも自分たちの音楽を堂々と演奏したグループ、抜群のチームワークで難曲を演奏しきったグループなど、個性あふれる演奏が会場いっぱいに響き渡りました。出場したすべての皆様の努力に大きな拍手を送りたいと思います。また、各大会が無事終了できたのは、出演者、各団体関係者、係員、補助員として大会運営に携わっていただいた方々、そして、ご来場いただき、素敵な演奏にたくさんの方の拍手をくださった多くの皆様の御理解・御協力があったこそだと思います。この場を借りて感謝申し上げます。

今後のより良い運営のために、各団体の皆様の忌憚のないご意見を各地区アンサンブル事業部員までお寄せください。

## マーチング事業部

松崎 佳介

令和6年度は、全日本小学生バンドフェスティバルの実施規定の変更、部活動改革への対応等を課題として取り組んでまいりました。

新設されたステージパフォーマンス部門は、吹奏楽コンクール小学生部門と併せて開催しました。実施規定や満足度の高い審査方法等、コンクール事業部と連携して引き続き検討を重ねていきます。

部活動改革への対応には大変苦慮しています。活動時間が制限され、吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテストといった、いわゆる「座奏」の活動時間の確保すらままならない現状で、残念ながらマーチング活動ができる団体は減少しています。パフォーマンスと音楽両面での鍛錬が必要で、単純に倍の時間を要することから、座奏との両立という面で、マーチングはこれから困難な局面を迎えるでしょう。しかし、私たちは、子供たちの「マーチングもやりたい」という意欲に何らかの形で応えなくてはなりません。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

## 財務部

内藤 良

令和6年度の財務部活動をご報告いたします。

令和3年度に一般社団法人となり、各地区の会計を県と統一する方向で整備を進めて参りました。コロナ禍以降各事業を実施していく中で、県吹奏楽全体として適切な財務運営を大枠として見通すことができるようになり、財務上大きな問題はない状況と捉えております。物価上昇などに伴い経費が増大する中、各事業内容において求められる活動内容と経費のバランスを如何にとつていくかということについて、さらに細かな検討を行い、より効果的な運営を行っていく段階に進んできております。

今後、人口減や部活動の地域移行などの環境変化が進む中で、持続可能な吹奏楽活動が県全体で行えるよう、財務の観点から継続的に検討を進めてまいります。皆様には、県ならびに各地区の運営に対して、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 審査部

熊坂 義則

審査部では、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテスト終了後に審査部会を開き、審査結果の精査と次年度招聘する審査員の検討及び交渉を行ってまいりました。各大会の審査員名の公表につきましては、昨年度同様、吹奏楽コンクール及びマーチングコンテストを5月のゴールデンウィーク中、アンサンブルコンテストを8月下旬に公表する予定でおります。会員の皆様におかれましては、審査員公表後は当該部門の審査員と一切の接触をもつことはできないことを御理解いただきますようお願いいたします。

各大会において審査は最も信頼されなければならぬものです。これまで審査結果精査後の検証及び審査員選考が審査部会にとつて大きな課題となっていました。これらを改善するため今年度から審査部会を廃止し、審査集計を担っている理事長・副理事長・事務局長を中心に審査結果の精査検証、及び審査員の選考を実施していくこととなりました。今後も透明性・信頼性を第一に考えた審査員選考に努めていきます。

# 各 地 区 の 活 動

## 県東地区

成田 啓毅

令和6年度は加盟団体の皆様の御協力により、地区の事業を無事に終えることができました。関係者の皆様に深く感謝いたします。

今年度の県東地区は、行事の運営方法をほぼコロナ禍以前の形に戻すことのできた、意味のある1年だったと感じています。

まずは初心者講習会です。コロナ禍以降市町村ごとに分散して開催していたものを、一斉開催で実施しました。同じバートの他校の生徒と交流をもつことで、お互いに高め合うことができる取り組みとなりました。

また、コロナ禍以降中止していた県東地区吹奏楽祭も実施することができました。出場団体の中には、部活動の地域移行も相まって合同で参加するチームが増え、他校や地域とのつながりを強く感じる、とても有意義な行事となりました。運営に携わっていた方々には深く感謝申し上げます。

令和6年度は一つ一つの行事について深く考えさせられた1年となりました。令和6年度の取り組みを今年度以降さらに充実させられるよう努力していきたいと思えます。

## 県南地区

郷 恵子

令和6年度も加盟団体の皆様の御理解御協力により、各事業を無事に開催することができました。

中でも指導者講習会は、県北地区の部活動地域移行への取り組みを、直接先生方にお伺いする貴重な機会となりました。

吹奏楽連盟と市町村、市民吹奏楽団が話し合いを重ねながら関係を築き、学校以外の場所でも生徒たちが伸び伸びと楽器を演奏する姿を詳細な資料とともに紹介いただきました。お話の後には、県南地区の先生方と意見交換する場も設けさせていただきました。

部活動という身近な活動が遠くなるのが、楽器に挑戦したい生徒の意欲低下につながっています。うことは、とても寂しいことです。地域移行がどのように進んでいくか、まだ不確定な部分もありますが、県南地区でも具体的に検討していくためのアドバイスを頂きました。

遠路はるばる取手市までお越しいただいた武藤先生、福原先生、門三野先生、ありがとうございます。

## 県西地区

稲毛田 一輝

令和6年度も加盟団体の皆様の御協力により、充実した活動をする事ができました。その中から県西地区としての取り組みを2つ紹介します。

### ①楽器別講習会

10月5日、下妻中学校を会場として、中・高校生を対象に楽器別講習会を実施しました。講師は、茨城県出身の若手音楽家を中心とした「Blue Rose (ブルーローズ)」をお招きし、約342名の生徒が参加しました。参加者はパートごとに分かれ、基礎的な奏法から、良い音の出し方の練習法などを学びました。

### ②リーダー講習会

12月14日、境第一中学校を会場として、加盟団体の代表部員を対象にリーダー講習会を実施しました。講師は、指揮者・バンドディレクターとして活躍をされている甘粕宏和先生をお招きしました。基礎合奏を中心としたバンドトレーニングを行っていたいただき、リーダーとして基礎的な楽器の演奏技術の習得と地区全体のレベルアップを図ることができました。

今後、県西地区の吹奏楽活動の発展のため、各加盟団体の皆様の御協力をお願いいたします。

## 県北地区

門三野 洋平

令和6年度も各加盟団体や関係者の皆様の御協力により、無事に事業を終えることができたことに感謝申し上げます。

吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテストでは、各団体とも限られた活動時間の中、日ごろの練習の成果を発揮し、精一杯演奏する姿がみられました。これからも出演者の皆さんが気持ちよく演奏できるように、運営の見直し・改善を行ってまいります。

部活動の地域移行については、活動場所や指導者の確保、楽器の調達、予算等課題は山積みです。各市町村教育委員会や文化施設、市民吹奏楽団等と議論を重ねています。「持続可能」な方法は何なのか、そのためには「誰が、何を」すべきかが重要になると考えています。各団体とも「子供たちのために」という気持ちは一緒です。それぞれの考えを共有し、できることは何かを繰り返し議論をしていきます。

音楽が好きなお子たちの活躍の場が広がるよう、これからも御協力をよろしくお願いたします。

## 中央地区

塩澤 恭平

令和6年度も会員の皆様には、細かな変更への対応等に多くの御協力をしていただきましたことに、心から感謝申し上げます。

さて、令和6年度は吹奏楽コンクール、アンサンブルコンテストと共に「出演者ファースト」を念頭に置いて無事大会を実施することができました。活動時間縮小の背景があるにも関わらず、各団体の力を合わせた演奏に拍手が鳴り響き、充実した大会になったと思います。また、今年度は、茨城県内で活躍する音楽団体「Blue Rose (ブルーローズ)」の皆さんを講師に迎え、初心者講習会として中級者講習会を実施することができました。これからも、子供たちの技術向上に貢献できる機会を創出していけたらと考えております。また、指導者講習会も開催しております。加盟団体の皆様は奮ってご参加ください。

令和7年度におきましても、茨城県における吹奏楽普及発展のために、地区を挙げて取り組んでまいります。具体的には、昨年度以上に工夫して各コンクールの運営、講習会の企画等ができればと考えております。これからも皆様の御協力をよろしくお願いたします。

音楽が好きなお子たちの活躍の場が広がるよう、これからも御協力をよろしくお願いたします。

# 大会の記録

※下線は代表団体

## ▶第64回茨城県吹奏楽コンクール

地区大会 (県東) 7月21日 神栖市文化センター (県南) 7月26日～28日 大昭ホール龍ヶ崎  
 (県西) 7月27日、28日 結城市民文化センター (県北) 7月20日、21日 常陸太田市民交流センター  
 (中央) 7月20日、21日 ひたちなか市文化会館  
 県大会 8月8日～12日 水戸市民会館 グロービスホール

	金賞	銀賞	銅賞
小学生の部 朝日賞 三の丸	阿見、三の丸、酒門、常磐、大岩田、千波	ネモフィラキッズ、笠原、村松、水海道	
中学生の部A部門 朝日賞 谷田部東	結城、東海、谷田部東、勝田三、佐野、千波、勝田一、大久保	土浦二、下館、守谷、取手一、見川、高萩、伊奈、水戸四、阿見、谷和原	鹿島、下稲吉、美浦、神栖四、みどりのSCC
中学生の部B部門 朝日賞 大島	古河一、茨城、磯原、大島、水戸二、八千代東、多賀、水戸一、けやき台、笠原、大子、水海道	並木、手代木、小川南、八千代一、古河中等、下館南、御所ヶ丘、滑川、笠間、境一、三和、泉丘、並木中等	潮来一、鉾田南、龍ヶ崎、神栖二、中郷、吾妻、北浦、愛宕、土浦一附属、大野、伊奈東
高校生の部A部門 朝日賞 常総学院	明秀日立、大成、茨城、常総学院、土浦二、霞ヶ浦、日立一	桜ノ牧、水戸一、牛久栄進、茨城キリスト	那珂、水海道一、藤代、水戸二、竹園
高校生の部B部門 朝日賞 取手聖徳女子	並木中等、水戸三、竜ヶ崎一、古河三、取手聖徳女子、古河中等、水戸女子、鉾田一	牛久、水城、境、江戸川学園、東洋大牛久	下館一、清真学園、日立北、多賀
大学の部A部門 朝日賞 茨城	茨城	筑波	常磐、茨城高専
職場・一般の部A部門 朝日賞 聖徳WE	日立市民、古河シティ、水戸市民、聖徳WE、ひたちなかフィル、ひたちなか交響、水戸交響	水戸三高OB、取手交響、常陸太田市民	愛♡Wind、阿見、水戸一高OB、土浦

## ▶第30回東関東吹奏楽コンクール

高A 9月7日 中A 9月8日 宇都宮市文化会館  
 高B 9月14日 小学 9月15日 横浜みなとみらいホール  
 中B 9月21日 大、職・一 9月22日 君津市民文化ホール

小学生の部	常磐	阿見、三の丸、酒門	大岩田、千波
中学生の部A部門			東海、勝田三、谷田部東、結城
中学生の部B部門	八千代東、水戸一、大島、	水戸二、茨城	多賀、古河一、磯原
高校生の部A部門	常総学院	大成女子	茨城、明秀日立
高校生の部B部門	取手聖徳女子、水戸三、水戸女子	並木中等、古河中等、竜ヶ崎一	古河三
大学の部		茨城、筑波	
職場・一般の部		古河シティ、聖徳 WE、日立市民	水戸市民

## ▶第24回東日本学校吹奏楽大会 中学生 10月12日 小学生・高等学校 10月13日 茨城・水戸市民会館 グロービスホール

中学生部門		水戸一	八千代東
-------	--	-----	------

## ▶第72回全日本吹奏楽コンクール

中学生 10月19日... 高等学校... 10月20日... 栃木: 宇都宮市文化会館  
 大学 10月26日 職場・一般 10月27日 北海道・札幌コンサートホール Kitara

## ▶第61回茨城県マーチングフェスティバル 8月25日 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

A部門中学校の部 朝日賞 大島	大島		
B部門中学校の部	岩瀬西	勝田二	
A部門高等学校以上の部 朝日賞 大成女子	大成女子、大洗	常磐	
小学生バンドフェスティバル (マーチング部門)			
朝日賞 石川	浜田、石川		

## ▶第23回東関東小学生バンドフェスティバル・第30回東関東マーチングコンテスト 10月6日(日) キョコマンアリーナ

小学生バンドフェスティバル マーチング部門	石川	浜田	
ステージパフォーマンス部門	酒門	大岩田	
マーチングコンテスト A部門中学校の部		大島	
B部門中学校の部			※勝田二 タイムオーバー
A部門高等学校以上の部 朝日賞 大成女子			常磐

## ▶第43回全日本小学生バンドフェスティバル

ステージパフォーマンス部門 10月26日(土) 札幌コンサートホール Kitara		酒門	
マーチング部門 11月16日(土) 大阪城ホール	石川		

▶第59回茨城県アンサンブルコンテスト			
地区大会 (県東) 11月16日、17日 神栖市文化センター (県南) 11月15日～17日 小美玉市生涯学習センター (県西) 11月16日、17日 結城市民文化センター (県北) 11月16日、17日 常陸太田市民交流センター (中央) 11月8日～10日 小美玉市生涯学習センター 県大会 (高、大) 12月20日 牛久市中央生涯学習センター (中) 12月21日 牛久市中央生涯学習センター (小、職・一) 12月22日			
	金 賞	銀 賞	銅 賞
小学生部門 朝日賞 常磐 (木五)	三の丸 (管六)、常磐 (金六)、村松 (金六)、 村松 (木三)、常磐 (木五)、三の丸 (Fl三)、 阿見 (金八)、笠原 A (金八)、三の丸 (管五)	白方 (打四)、千波 (木四)、村松 (Sax三)、 阿見 (打四)、笠原 C (金八)、白方 A (金八)、 三の丸 (打三)、阿見 B (金八)、水海道 A (金八)、阿見 A (金八)	水海道 B (金八)、佐野 (管五)、笠原 (打三)、 千波 (金七)、常磐 (金七)、千波 (管六)
中学生部門 朝日賞 下館南 (Cl四)	水海道西 (打三)、下館南 (Cl四)、谷田 部東 (Cl四)、並木中等 (金八)、下館南 (打四)、茨城キリスト教学園 (木三)、古 河中等 (打五)、泉丘 (木八)、関城 (打六)、 磯原 (管八)、金砂郷 (打三)、境一 (打三)、 並木中等 (Cl五)、水戸一 (Sax三)、茨城 (Cl 三)、笠間 (木八)、茨城 (Fl三)、けやき 台 (打五)	石川 (金四)、守谷 (木三)、御所ヶ丘 (金八)、 大久保 (Tb三)、けやき台 (木八)、水戸一 (金 六)、水戸二 (管八)、御所ヶ丘 (Sax四)、 水海道西 (Sax四)、金砂郷 (Fl三)、谷田 部東 (木七)、泉丘 (打三)、御所ヶ丘 (Cl三)、 茗溪学園 (Sax三)、手代木 (木七)、土浦 一高附属 (Sax五)、水戸一 (管五)、取手 二 (Sax三)、古河中等 (木七)、佐野 (木八)、 下稲吉 (Sax五)、境一 (Fl三)、日立一高 附属 (打五)	千波 (Cl四)、竜ヶ崎一高附属 (管七)、 鹿島 (打三)、清真学園 (金八)、谷田部東 (金八)、笠間 (金八)、神栖二 (金七)、東 海 (木八)、田彦 (金八)、神栖一 (木三)、 笠原 (打三)、下妻 (木八)、大野 (木四)、 鹿野 (打三)、八千代東 (管七)、銚田一高 附属 (管三)、境一 (Cl三)、吾妻 (管四)
高等学校部門 朝日賞 常総学院 (Cl六)	取手聖徳女子 (木八)、水戸一 (Sax六)、 常総学院 (Sax四)、水戸二 (Fl三)、茨城 (打七)、常総学院 (Cl六)、明秀日立 (金 八)、取手聖徳女子 (打五)、大成女子 (Fl 三)、明秀学園日立 (打七)、水戸女子 (金 六)、水戸一 (Cl五)、土浦二 (Sax四)、霞ヶ 浦 (木三)、大成女子 (金八)、並木中等 (Cl 四)、茨城 (Fl四)	茨城 (Cl四)、下妻一 (打三)、土浦二 (金八)、 水戸桜ノ牧 (打三)、竜ヶ崎一 (金八)、茨 城キリスト教学園 (金三)、土浦一 (Fl三)、 竜ヶ崎一 (木八)、日立北 (Sax五)、土浦 日大 (Sax四)、古河中等 (打五)、古河中 等 (Sax四)、明秀日立 (Cl七)、水戸二 (Cl三)、 土浦二 (Cl四)、霞ヶ浦 (金八)、古河三 (Sax 四)、古河清真学園 (Sax四)	鹿島 (打三)、土浦一 (打三)、水海道一 (Fl 四)、霞ヶ浦 (打四)、佐和 (木三)、日立一 (Cl 四)、古河中等 (Fl三)、鹿島 (木六)、下 妻一 (木八)、銚田一 (Cl四)、日立一 (金 八)、茨城キリスト教学園 (木六)、
大学部門 朝日賞 茨城 (Cl七) 職場・一般部門 朝日賞 聖徳 (管八)	茨城 (Cl七)、筑波 (Cl八)、茨城 (Fl六) 大成 (木六)、聖徳 (管八)、ひたちなかフィル (打 四)、聖徳 (金八)、Ensemble Brillante (金 八)、ひたちなかフィル (Cl四)、古河シティ (Sax四)、水戸市民 (木四)	筑波 (金五) メイブルローズ (Fg四)、阿見 (金三)、 大成 (Sax四)、ジョセフィテット (金四)、 "Legend Of Dragon" (金四)、取手交響 (金 四)、古河三中 OB (Fl五)、土浦 (Cl四)、 聖徳 (金四)、ひたちなか交響 (木五)、古 河三中 OB (Cl五)	茨城女子短期 (管四) 水戸一高 OB (Fl四)、水戸一高 OB (金四)、 水戸一高 OB (金七)、阿見 (Fl四)、ひた ちなか交響 (Tp四)、阿見 (金八)、白亜 (金 八)、古河シティ (Tb三)
▶第30回東関東アンサンブルコンテスト 令和7年1月25日、26日 茨城・牛久市中央生涯学習センター			
小学生部門	常磐 (金六)	三の丸 (管六)、三の丸 (Fl三)、村松 (金 六)、常磐 (木五)、村松 (木三)	
中学校部門		水海道西 (打三)、下館南 (Cl四)、下館南 (打 四)、並木中等 (金八)	茨城キリスト教学園 (木三)、古河中等 (打 五)、谷田部東 (Cl四)、泉丘 (木八)
高等学校部門	常総学院 (Cl六)、常総学院 (Sax四)	水戸二 (Fl三)、茨城 (打七)、取手聖徳 女子 (木八)、水戸一 (Sax六)	取手聖徳女子 (打五)、明秀学園日立 (金八)
大学部門		筑波 (Cl八)	茨城 (Cl七)
職場・一般部門		聖徳 (管八)、古河シティ (Sax四)、Ensemble Brillante (金八)、ひたちなかフィル (Cl四)、 大成 (木六)、聖徳 (金八)、ひたちなかフィル (打四)	
▶第48回全日本アンサンブルコンテスト 令和7年3月20日 福井・福井県立音楽堂ハーモニーホールふくい 高等学校部門			
			常総学院 (Cl六)



昨年引き続き、市民バンドフェスティバルに中学校吹奏楽部が出演されたことも素晴らしい試みだと思えます。演奏会を取りまともていただいた県西地区の皆様  
に感謝申し上げます。

今年度は県西地区の坂東市民音楽ホールで開催されました。  
コンサートは三部構成で各団体とも趣向を凝らした選曲構成となりました。第一部は古河シティウインドオーケストラ Jr. バンドとして古河市内の6中学校・境町の1中学校の合同バンド、第二部では坂東市内3中学校の合同バンド、第三部では県西地区の一般団体を中心とした、一般吹奏楽団合同バンドが出演。最後に出演者全員による「宝島」の演奏がありました。

中澤 修史  
2024  
市民ハンドフェスティバル

令和6年度県吹連後援 演奏会の記録 (加盟団体のみ)

Table with columns for month, group name, concert name, month, group name, and concert name. It lists various musical groups and their respective concert events throughout the year.

編集後記

広報委員長 古谷 讓

「吹連いばらき」は本号で60号を迎えました。これまでの発行を振り返ると、コロナ禍に誌面の大幅な見直しをし、その後は部活動の地域移行を反映して、投稿記事の内容も変化してきました。本号の記事からも吹奏楽連盟が、何を指しているのか、何を支援すればいいのかという課題を投げかけられているような気がします。

私たちは音楽を通して子供や仲間と向き合っています。それは音楽との対話の中で試行錯誤の連続だと思えますが、臆することなく前に進むことが必要です。そのためにも、すべての指導者や仲間にも、すべての指導者や仲間にも本号をお読み頂き、様々な考え方や取り組みに触れ、指導者・団員・部員それぞれの立場で今後の活動の中で何かを考えるきっかけになれば幸いです。

最後になりましたが、本号の原稿依頼に快く御協力くださいました皆様方に感謝申し上げます。

広報委員

- 佐々木孝明(県東地区長)
古谷 讓(県南地区長)
古井 忍(県西地区長)
武藤 隆行(県北地区長)
仁平 良治(中央地区長)
田熊 典子(事務局職員)